

平成 24 年 12 月 25 日

神戸港港湾審議会
会長 黒田 勝彦 様

神戸港港湾管理者 神
代表者 神戸市長 矢田



神戸港港湾計画（一部変更）について（諮問）

港湾法第三条の三 第3項の規定に基づき、神戸港港湾計画の一部変更について、貴会の意見を求めます。

第41回神戸港港湾審議会資料

神戸港港湾計画書（案）

— 一部変更 —

平成 25 年 2 月

神戸港港湾管理者

神 戸 市

本計画書は、港湾法第三条の三の規定に基づき、

- ・平成17年11月 神戸港港湾審議会
- ・平成18年2月 交通政策審議会第17回港湾分科会

の議を経、その後の変更については

- ・平成18年3月 神戸港港湾審議会
- ・平成19年2月 神戸港港湾審議会
- ・平成19年3月 交通政策審議会第23回港湾分科会
- ・平成20年3月 神戸港港湾審議会
- ・平成20年11月 神戸港港湾審議会
- ・平成21年10月 神戸港港湾審議会
- ・平成21年11月 交通政策審議会第36回港湾分科会
- ・平成22年5月 神戸港港湾審議会
- ・平成22年7月 交通政策審議会第38回港湾分科会
- ・平成22年11月 神戸港港湾審議会
- ・平成22年11月 交通政策審議会第39回港湾分科会
- ・平成23年3月 神戸港港湾審議会
- ・平成23年10月 神戸港港湾審議会
- ・平成23年12月 交通政策審議会第47回港湾分科会

の議を経た神戸港の港湾計画の一部を変更するものである。

目 次

変更理由	1
1 公共埠頭計画	2
2 水域施設計画	3
3 港湾の効率的な運営に関する事項	5
4 その他重要事項	
4－1 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点 として機能するために必要な施設	7
4－2 大規模地震対策施設計画	9

変更理由

1. 六甲アイランド地区において、コンテナ船の大型化に対応し、コンテナ物流の国際競争力の更なる強化を図るため、公共埠頭計画を変更する。

また、公共埠頭計画の変更に伴い、水域施設計画、港湾の効率的な運営に関する事項及び国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設並びに大規模地震対策施設計画を変更する。

2. ポートアイランド（第2期）地区等において、船舶の大型化等による交通の輻輳に鑑み、船舶の安全かつ円滑な航行を実現するため、水域施設計画を変更する。

また、水域施設計画の変更に伴い、国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設を変更する。

1 公共埠頭計画

(1) 外貿コンテナ埠頭計画

コンテナ物流の国際競争力の更なる強化を図るため、公共埠頭のうち、以下の施設について計画を変更する。

[公共埠頭計画]

六甲アイランド地区

水深16m 岸壁2バース 延長800m (コンテナ船用)

[既設の変更計画] RC-6、7

既設

水深14~15m 岸壁2バース 延長700m

(コンテナ船用) RC-6、7

2 水域施設計画

外貿コンテナ埠頭計画の変更及び、コンテナ船の大型化に対応して、航路、泊地、航路・泊地を次のとおり変更する。

[水域施設計画]

1) 航路

第三航路 水深14～16m 幅員600m (工事中)

[既定計画の変更計画]

既定計画

第三航路 水深14～16m 幅員500m (工事中)

2) 泊地

ポートアイランド (第2期) 地区

水深 16m 面積 7ha

[既設の変更計画]

六甲アイランド地区

水深 16m 面積 4ha

[既設の変更計画]

既定計画

ポートアイランド (第2期) 地区 水深 15m 面積 5ha

水深 16m 面積 24ha [既設]

六甲アイランド地区

水深 15m 面積 2ha [既設]

3) 航路・泊地

ポートアイランド（第2期）地区

水深 16m 面積219ha（うち171ha工事中、17ha既設）

[既設・既定計画の変更計画]

なお、これに伴い、第六防波堤98mを撤去する。

六甲アイランド地区

水深 16m 面積305ha

[既設の変更計画]

既定計画

ポートアイランド（第2期）地区

水深 16m 面積182ha（工事中）

水深 15m 面積1ha

六甲アイランド地区

水深 15m 面積149ha

3 港湾の効率的な運営に関する事項

効率的な運営を特に促進する区域

外貿コンテナ埠頭計画の変更に対応し、効率的な運営を特に促進する区域の施設のうち、以下の施設について計画を変更する。

[効率的な運営を特に促進する区域]

六甲アイランド地区

水深16m	岸壁2バース	延長800m (コンテナ船用)	[既設の変更計画]	RC-6,7
水深14m	岸壁2バース	延長880m (コンテナ船用)	[既設]	RC-4,5
水深13m	岸壁1バース	延長260m	[既設]	RW-B
水深9m	岸壁1バース	延長266m (フェリー用)	[既設]	RF-2
水深8.5m	岸壁1バース	延長238m (フェリー用)	[既設]	RF-3
水深7.5m	岸壁1バース	延長193m (フェリー用)	[既設]	RF-1
水深7.5m	岸壁2バース	延長260m	[既設]	RS-B、C

既定計画

水深15m	岸壁 1 バース	延長350m	(コンテナ船用) [既設] RC-7
水深14m	岸壁 3 バース	延長1,230m	(コンテナ船用) [既設] RC-4、5、6
水深13m	岸壁 1 バース	延長260m	[既設] RW-B
水深 9 m	岸壁 1 バース	延長266m	(フェリー用) [既設] RF-2
水深8.5m	岸壁 1 バース	延長238m	(フェリー用) [既設] RF-3
水深7.5m	岸壁 1 バース	延長193m	(フェリー用) [既設] RF-1
水深7.5m	岸壁 2 バース	延長260m	[既設] RS-B、C

4 その他重要事項

4-1 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設

今回計画している施設のうち、国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設を以下のとおり変更する。

[国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設]

ポートアイランド（第2期）地区

水深16m 泊地 面積7ha [既設の変更計画]

水深16m 航路・泊地 面積219ha

（うち171ha工事中、17ha既設） [既設・既定計画の変更計画]

六甲アイランド地区

水深16m 岸壁2バース 延長800m （コンテナ船用）

[既設の変更計画] RC-6、7

水深16m 泊地 面積4ha [既設の変更計画]

水深16m 航路・泊地 面積305ha [既設の変更計画]

航路

第三航路 水深14～16m 幅員600m (工事中)

[既定計画の変更計画]

既定計画

ポートアイランド (第2期) 地区

水深16m 泊地 面積24ha [既設]

水深16m 航路・泊地 面積 182ha(工事中)

水深15m 泊地 面積 5 ha

水深15m 航路・泊地 面積 1 ha

六甲アイランド地区

水深15m 岸壁1バース 延長350m (コンテナ船用) R C - 7
[既設]

水深15m 泊地 面積2ha [既設]

水深15m 航路・泊地 面積149ha [既設]

航路

第三航路 水深14～16m 幅員 500m (工事中)

4-2 大規模地震対策施設計画

外貿コンテナ埠頭計画の変更に対応し、国際海上コンテナ輸送に対応した大規模地震対策施設のうち、以下の施設について計画を変更する。

[大規模地震対策施設計画]

六甲アイランド地区

水深16m 岸壁2バース 延長800m (コンテナ船用)

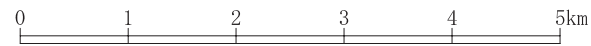
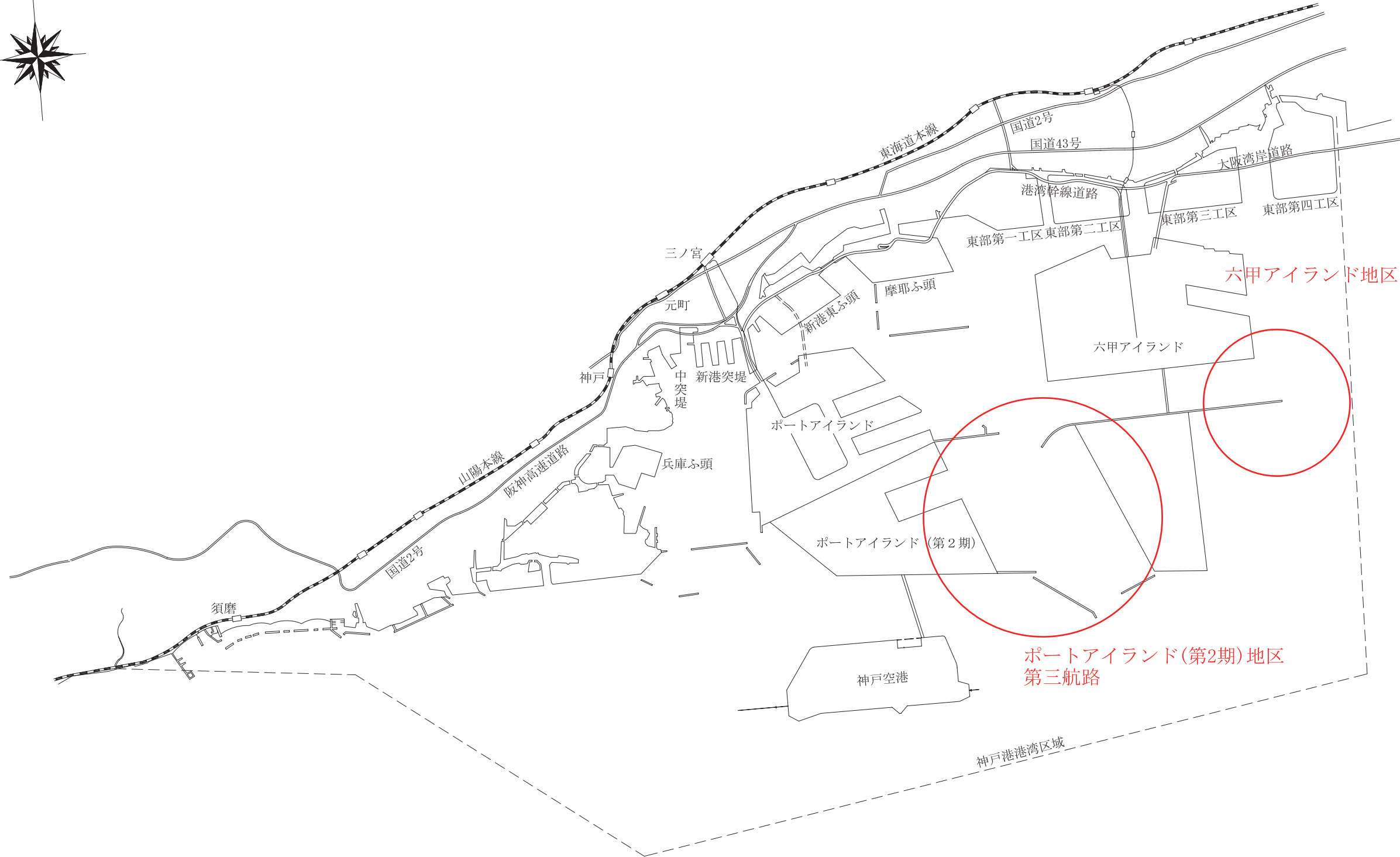
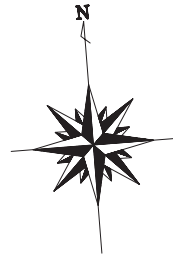
RC-6、7 [既設の変更計画]

既設

水深15m 岸壁1バース 延長350m (コンテナ船用)

RC-7

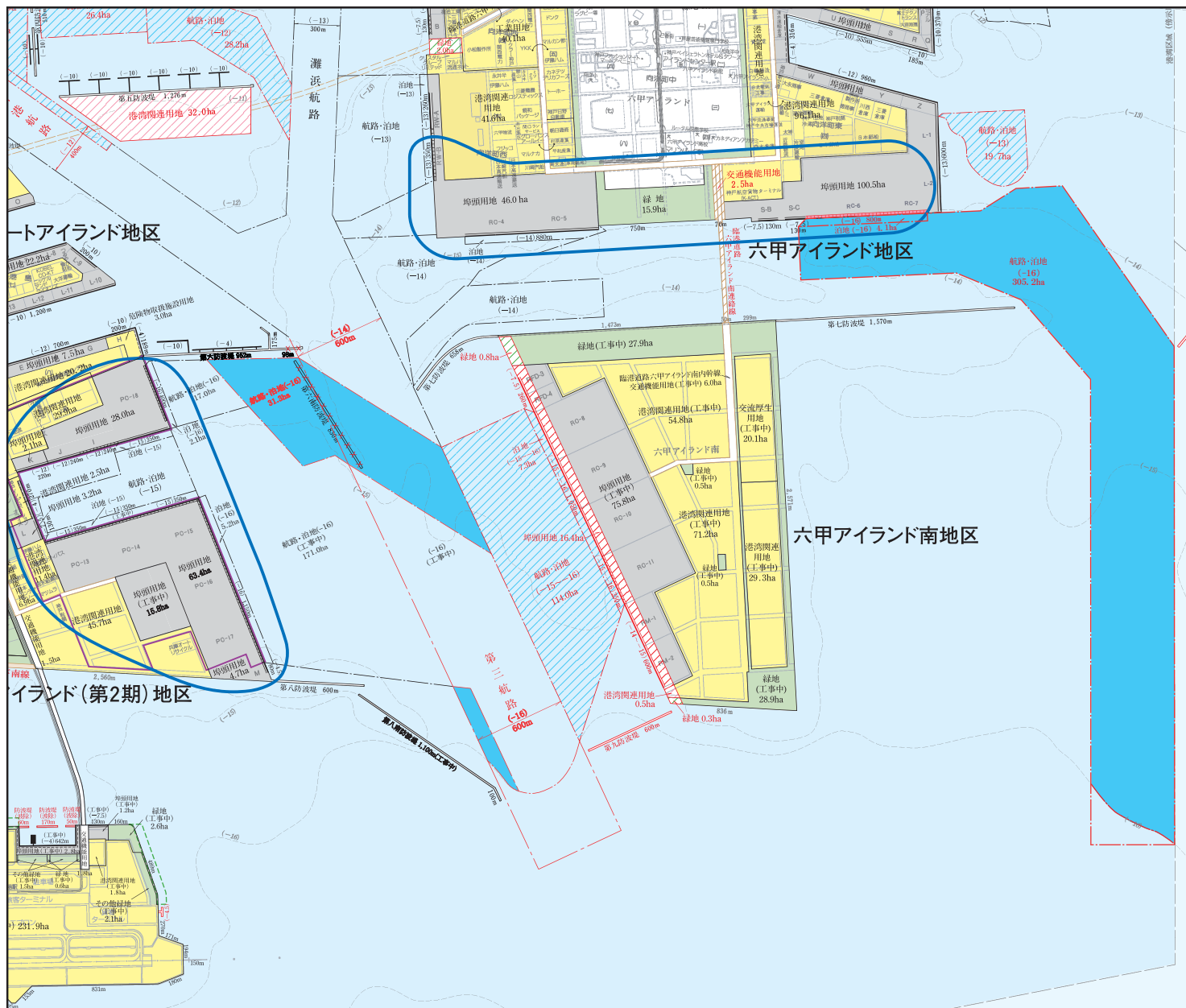
神戸港港湾計画位置図 S=1/70,000



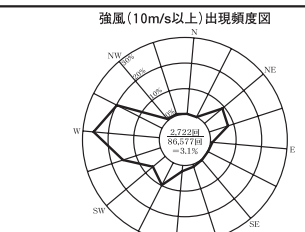
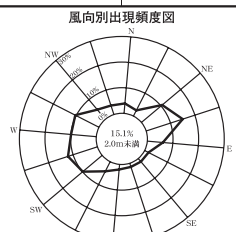
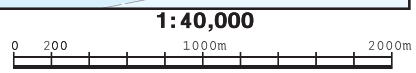
凡 例	
○	計画変更箇所

神戸港港湾計画図(案)

ポートアイランド(第2期)・六甲アイランド地区



凡		例
	航路	(既設及び工事中)
	泊地	(既定計画)
	航路・泊地	(今回計画)
	外郭施設	(既設)
	公共岸壁	(既設)
	耐震強化岸壁	(既定計画)
	公共物揚場	(既定計画)
	埠頭用地	(既定計画)
	埠頭用地	(今回計画)
	緑地	(既設及び工事中)
	緑地	(既定計画)
	交通機能用地 (臨港道路)	(既設及び工事中)
	交通機能用地 (臨港道路)	(既定計画)
	交通機能用地 (其他道路)	(既設)
	その他の用地	(既設及び工事中)
	その他の用地	(既定計画)
	撤去	
	効率的な運営を特に促進する区域	
	臨海部物流拠点の形成を図る区域	



注) 観測回数 86,577回
10m以上出現回数 2,722回
出現率 3.1%
(観測期間:1987年4月~1998年3月, 欠測期間:1985年4月~1986年3月)

第41回神戸港港湾審議会資料

神戸港港湾計画資料(案)

— 一部変更 —

平成 25 年 2 月

神戸港港湾管理者

神戸市

目 次

1. 変更理由	1
2. 施設計画に関する資料	
2-1 公共埠頭計画	2
2-2 水域施設計画	3
3. 港湾の効率的な運営に関する事項	13
4. その他重要事項	
4-1 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能する ために必要な施設	14
4-2 大規模地震対策施設計画	16
5. 環境の保全に関する資料	18
6. その他の資料	
6-1 関係機関との調整	19
6-2 地方港湾審議会委員名簿	20

1 変更理由

1. 六甲アイランド地区において、コンテナ船の大型化に対応し、コンテナ物流の国際競争力の更なる強化を図るため、公共埠頭計画を変更する。

また、公共埠頭計画の変更に伴い、水域施設計画、港湾の効率的な運営に関する事項及び国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設並びに大規模地震対策施設計画を変更する。

2. ポートアイランド（第2期）地区等において、船舶の大型化等による交通の輻輳に鑑み、船舶の安全かつ円滑な航行を実現するため、水域施設計画を変更する。

また、水域施設計画の変更に伴い、国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設を変更する。

2. 施設計画に関する資料

2-1 公共埠頭計画

(1) 外貿コンテナ埠頭計画

六甲アイランド地区において、コンテナ物流の国際競争力の更なる強化を図るため、公共埠頭計画を以下のとおり変更する。

表2-1-1 係留施設計画

施設名	水深 (m)	延長 (m)	バース数	内容	備考
RC-6,7	-16	800	2	既設の 変更計画	

表2-1-2 対象船舶と公共埠頭の必要延長

施設名	対象船舶	全長 (m)	型幅 (m)	バース延長 (m/B)	備考
RC-6,7	140,000DWT	366	48.0	800m/2B	

2-2 水域施設計画

(1) 航路計画

船舶の大型化等による交通の輻輳に鑑み、船舶の安全かつ円滑な航行を実現するため、航路を次のとおり計画する。

表 2-2-1 航路計画

航路名	水深 (m)	幅員 (m)	備考
第三航路	-14~-16	600	既定計画の 変更計画 (工事中)



図 2-2-1 位置図

(2) 泊地計画

外貿コンテナ埠頭計画の変更に伴い、泊地を次のとおり計画する。

表 2-2-2 泊地計画

地区名	水深 (m)	面積 (ha)	備考
ポートアイランド (第2期) 地区	-16	7.3	既設の 変更計画
六甲アイランド地区	-16	4.1	既設の 変更計画

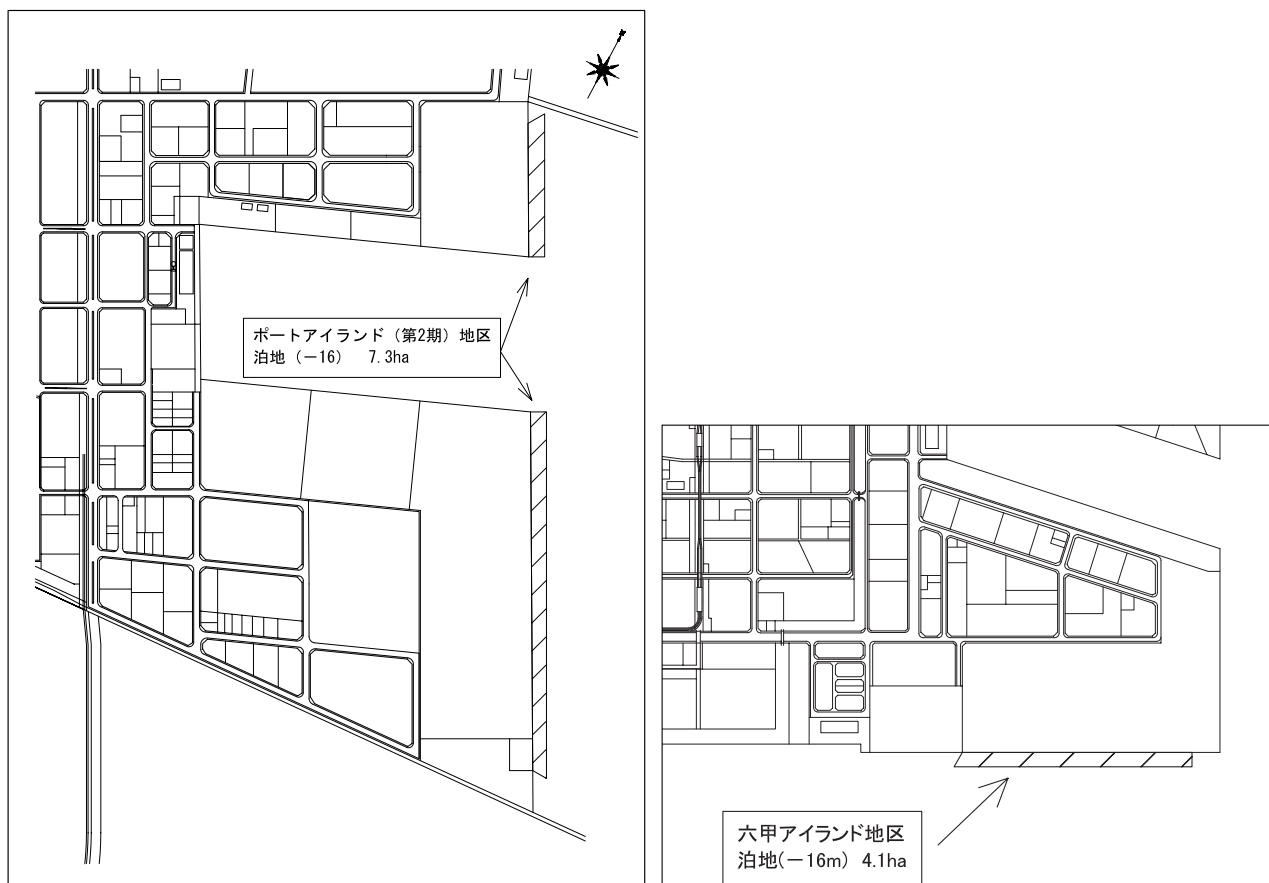


図 2-2-2 泊地計画図

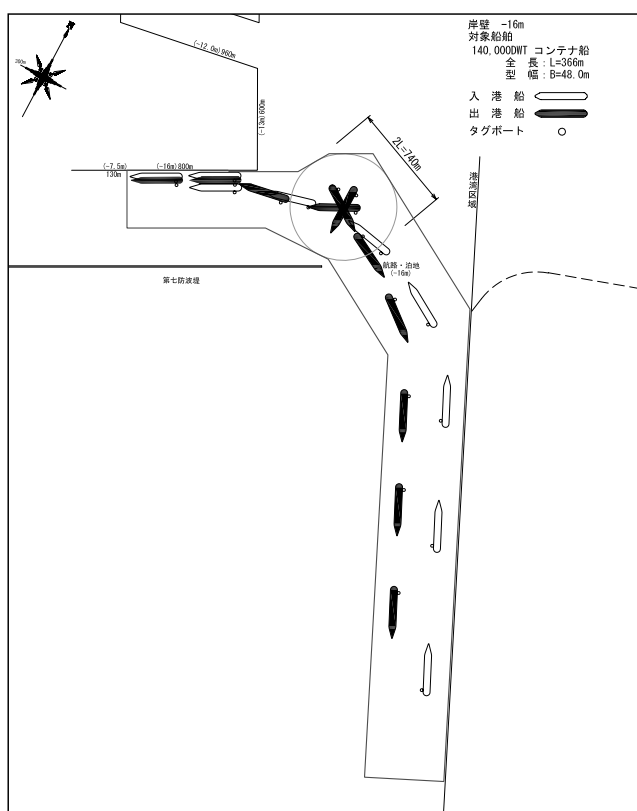
(3) 航路・泊地計画

航路・泊地計画の変更に伴い、対象船舶及び操船例図を次のとおり示す。

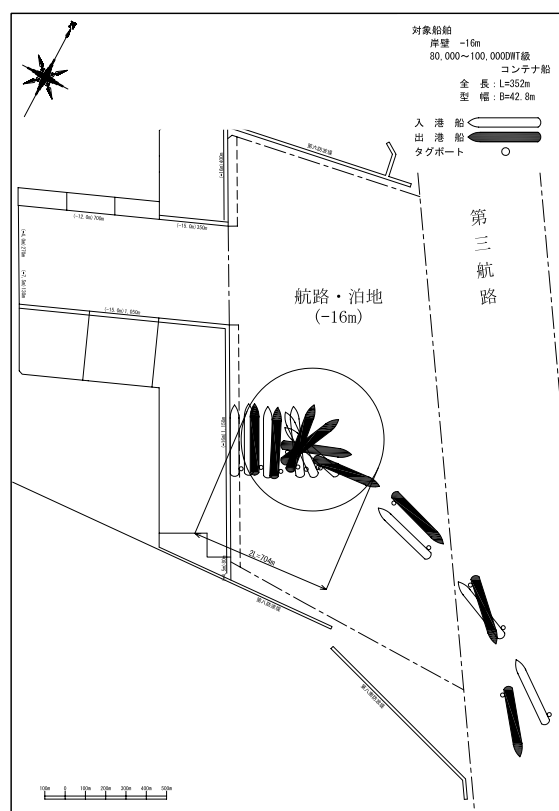
表 2-2-3 対象船舶

施設名	対象船舶	全長(m)	型幅(m)
RC-6, 7	コンテナ船 140,000DWT級	366	48.0
PC-16, 17, 18(E)	コンテナ船 80,000~100,000DWT級	352	42.8

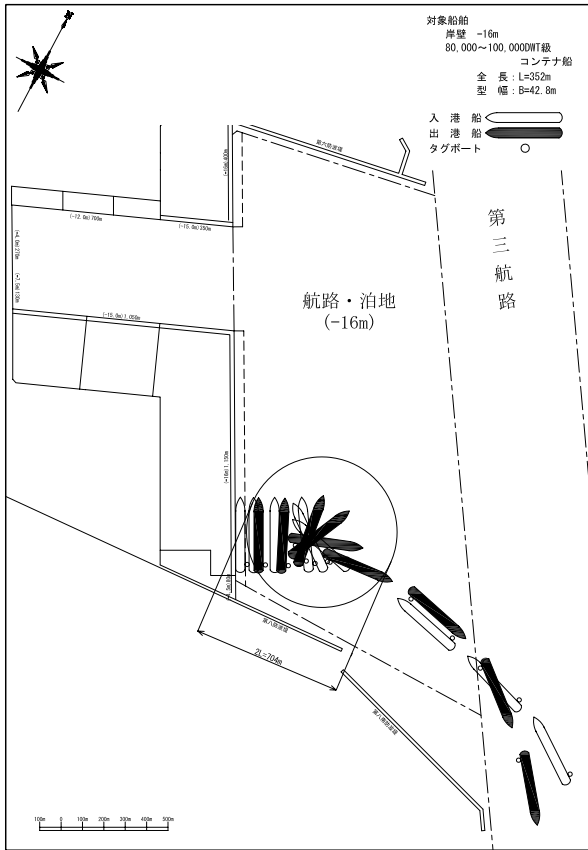
[RC-6, 7]



[PC-16]



[PC-17]



[PC-18 (E)]

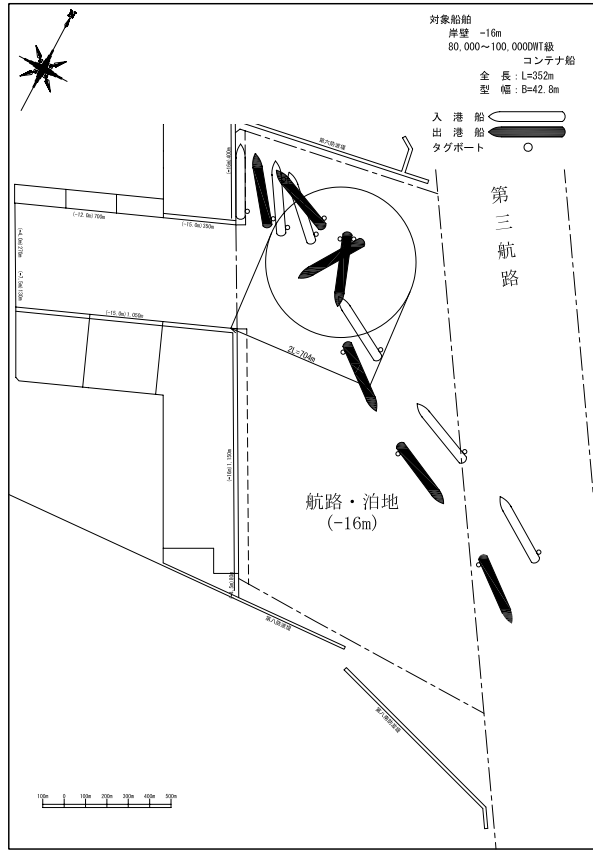


図 2 - 2 - 3 操船例図

(4) 静穏度の検討

1) 静穏度の目標値

静穏度の目標値は表2-2-4に示すとおりである。

対象となる岸壁はPC-14, 15(E), 16, 18(E), RC-8, 9, 10, 11とする。

また、異常時の沖波条件を表2-2-6に示す。

表2-2-4 静穏度の目標値

区分	係留施設前面波高	稼働率
通常時	0.5m	97.5%
異常時	1.5m	—

表2-2-5 波高・波向別波浪出現頻度 (通年)

上段：波高発生度数 (回)

下段：波高発生度数 (%)

波高階級	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW
~0.5m	60 0.3	55 0.2	57 0.3	89 0.4	1330 6.0	1527 6.9	1384 6.2	1488 6.7	1924 8.6	4052 18.2	4257 19.1	2465 11.1	1055 4.7	72 0.3	61 0.3	60 0.3
0.5m~ 1.0m		1 0.0			17 0.0	4 0.0	6 0.0	11 0.0	52 0.2	721 3.2	989 4.4	190 0.9	29 0.0		1 0.0	
1.0m~ 1.5m									1 0.0	109 0.5	115 0.5	11 0.0	1 0.0			
1.5m~ 2.0m										22 0.0	24 0.1					
2.0m~ 2.5m										7 0.0	1 0.0					
2.5m~ 3.0m											2 0.0					
3.0m~																
合計	60 0.3	56 0.3	57 0.3	89 0.4	1347 6.0	1531 6.9	1390 6.2	1499 6.7	1977 8.9	4911 22.0	5388 24.2	2666 12.0	1085 4.9	72 0.3	62 0.3	60 0.3

資料：NOWPHAS (2002年1月1日0時~2009年10月31日22時)

表2-2-6 波向別の沖波条件 (異常時)

波向	波高	周期
SSE	2.9m	6.4 s
S	3.6m	7.2 s
SSW	3.7m	7.3 s

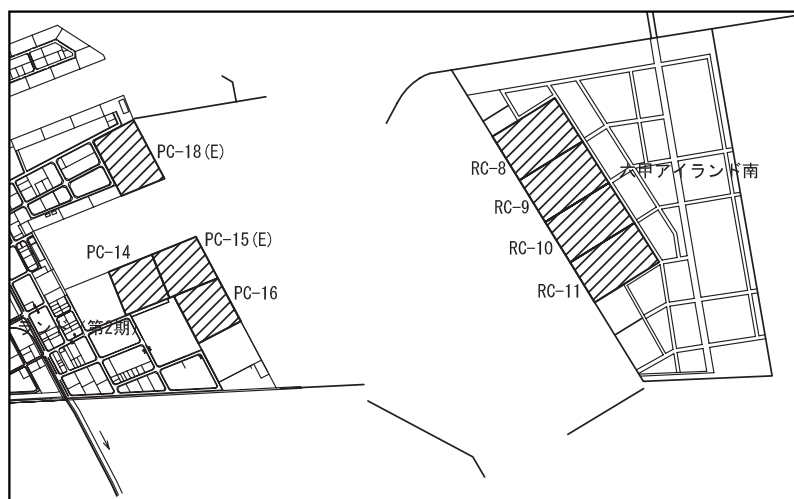


図 2 - 2 - 4 対象岸壁位置図

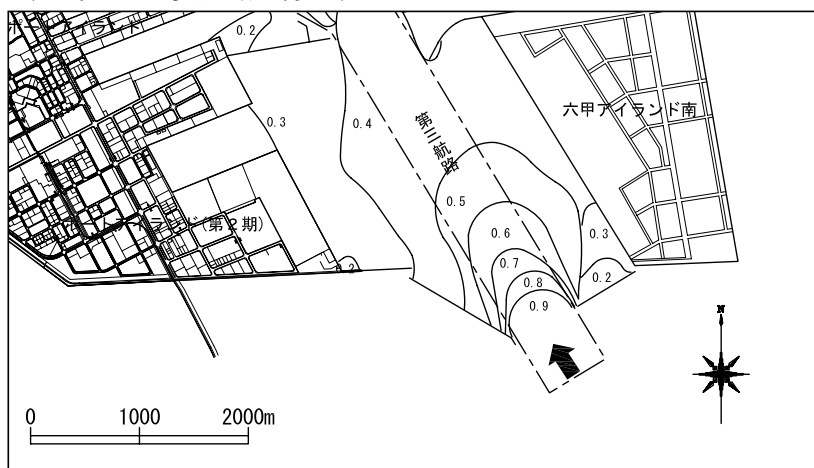
2) 通常時の静穏度

今回計画における対象岸壁前面での波高50cm以下の出現率は表 2 - 2 - 7 のとおりであり、静穏度の目標値 (97.5%) を満足している。

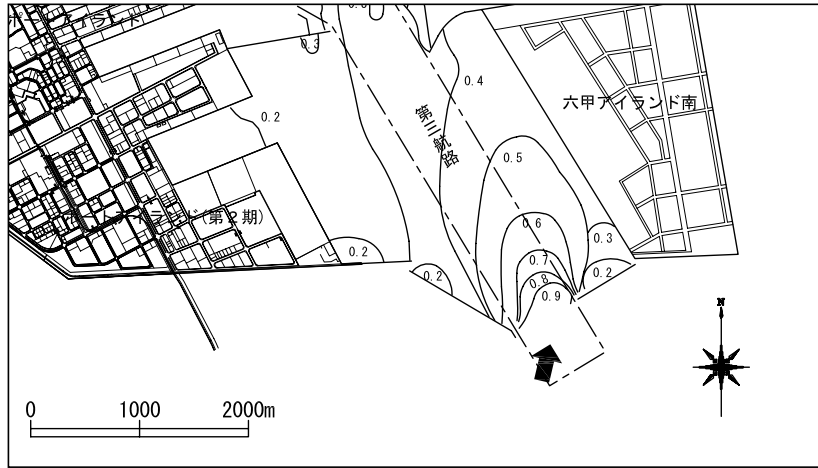
表 2 - 2 - 7 通常時の稼働率

波高0.5m以下の出現率 (%)	PC-14	PC-15 (E)	PC-16	PC-18 (E)	RC-8	RC-9	RC-10	RC-11
	100.00	100.00	99.97	100.00	99.89	99.68	99.04	99.22

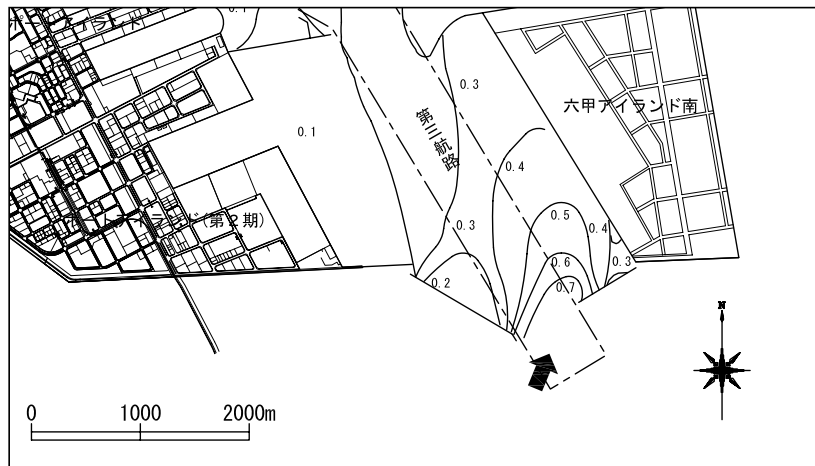
(通常時の等波高比線図)



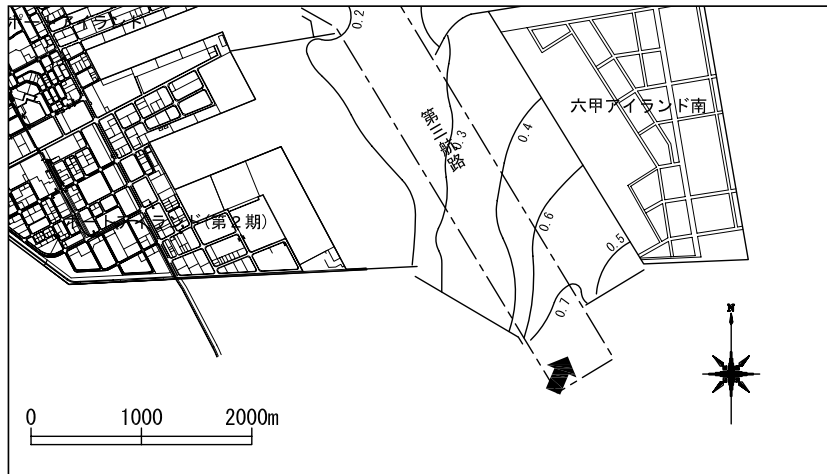
S S E 方向



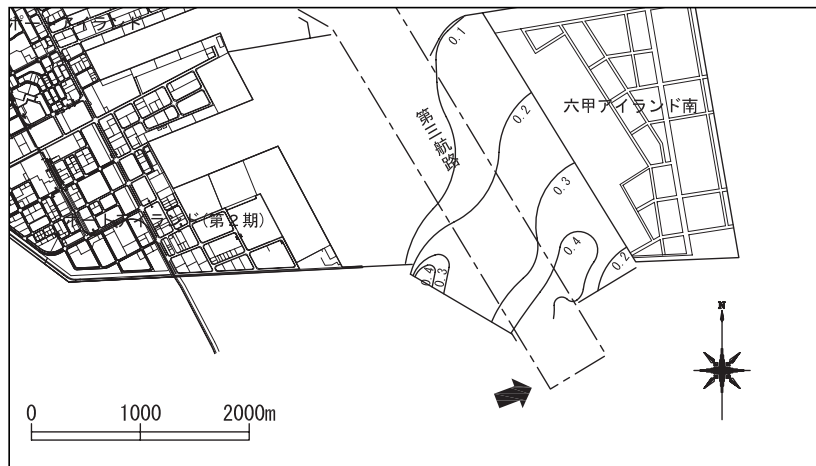
S 方向



S SW 方向



SW方向



WSW方向

図 2 - 2 - 5 通常時の等波高比線図

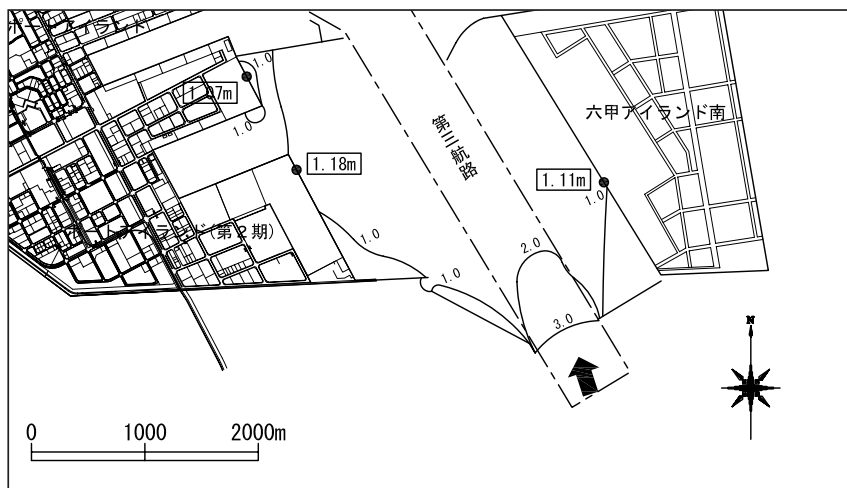
3) 異常時における静穏度

今回計画における岸壁前面での波高は表2-2-8のとおりであり、静穏度の目標値(1.5m)を満足している。

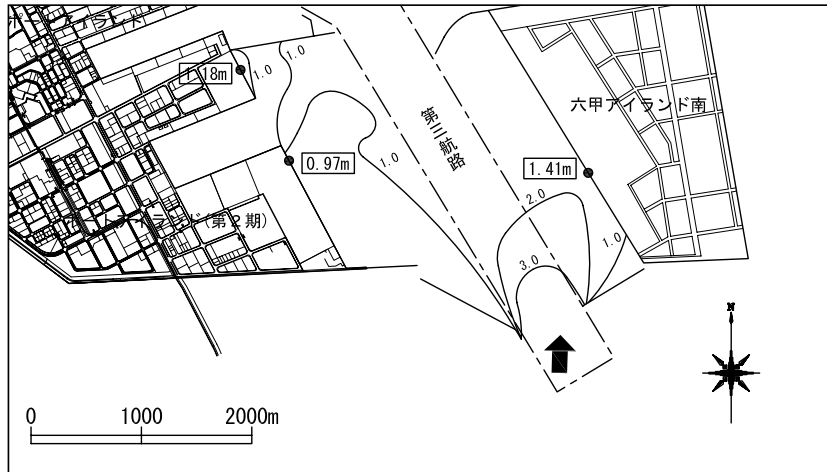
表2-2-8 異常時の岸壁前面波高

確立年	波向	波高(m)	周期(s)	PC-14	PC-15(E)	PC-16	PC-18(E)	RC-8	RC-9	RC-10	RC-11
50	SSE	2.9	6.4	0.97	1.18	1.16	1.07	1.10	1.07	1.11	0.63
	S	3.6	7.2	0.8	0.97	0.57	1.18	1.48	1.46	1.41	1.10
	SSW	3.7	7.3	0.16	0.24	0.27	0.20	1.23	1.28	1.49	1.26

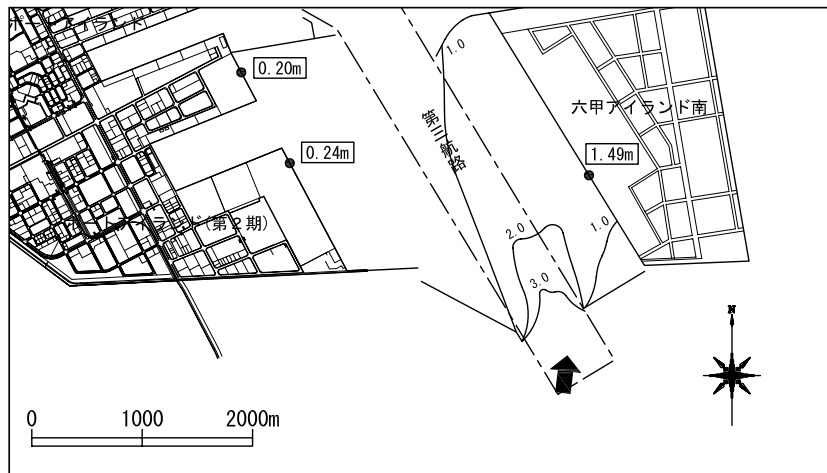
(異常時の等波高線図)



SSE方向



S方向



SSW方向

図 2 - 2 - 6 異常時の等波高線図

3 港湾の効率的な運営に関する事項

六甲アイランド地区において、外貿コンテナ埠頭計画に対応し、効率的な運営を特に促進する区域を次のとおり変更する。

表 3-1-1 効率的な運営を特に促進する区域

施設名	施設規模	備考
RC-4,5	岸壁2バース 延長880m (コンテナ船用)	既設
RC-6,7	岸壁2バース 延長800m (コンテナ船用)	既設の変更計画
RW-B	岸壁1バース 延長260m	既設
RF-1	岸壁1バース 延長193m (フェリー用)	既設
RF-2	岸壁1バース 延長266m (フェリー用)	既設
RF-3	岸壁1バース 延長238m (フェリー用)	既設
RS-B, C	岸壁2バース 延長260m	既設

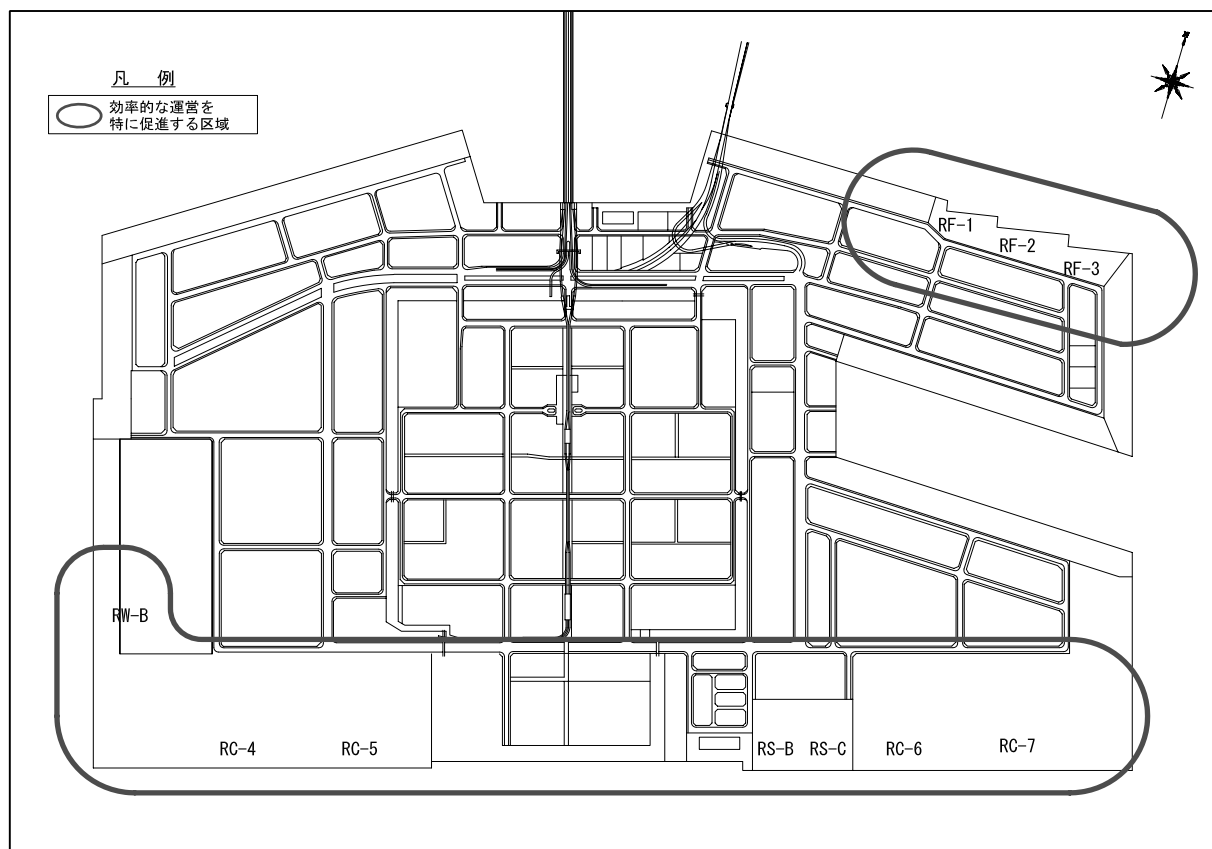


図 3-1-1 効率的な運営を特に促進する区域の位置図

4 その他重要事項

4-1 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設

ポートアイランド（第2期）地区及び六甲アイランド地区において、今回計画している施設のうち、国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設は次のとおりである。

表 4-1-1 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために必要な施設

地区名	施設	施設規模	備考
ポートアイランド (第2期)	泊地	(-16.0) 面積7.3ha	既設の 変更計画
	航路・泊地	(-16.0) 面積219.3ha (うち171.0ha工事中、 17.0ha 既設)	既設及び既定 計画の変更計画
六甲アイランド	岸壁	(-16.0)2B 延長800m	既設の 変更計画
	泊地	(-16.0) 面積4.1ha	既設の 変更計画
	航路・泊地	(-16.0) 面積305.2ha	既設の 変更計画
	航路	第三航路 (-14.0~-16.0) 幅員600m	既定計画の 変更計画 (工事中)

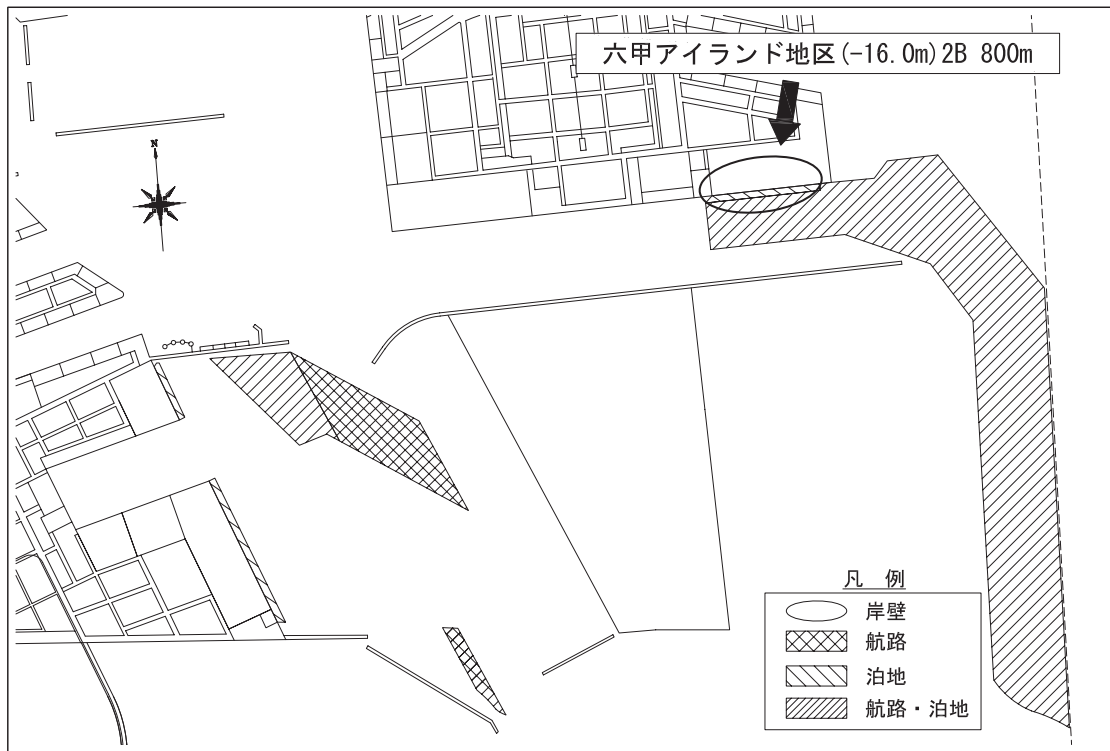


図 4 - 1 - 1 国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点として機能するために追加する施設

4-2 大規模地震対策施設計画

大規模地震災害時において、必要な港湾機能を維持するため、大規模地震対策施設を次のとおり計画する。

六甲アイランド地区において、外貿コンテナ埠頭計画の変更に対応し、大規模地震対策施設の計画を変更する。

その他の岸壁については、既設又は既定計画どおりとする。

表4-2-1 耐震強化岸壁計画（物流機能維持用）

地区名	施設名	水深 (m)	数	延長 (m)	備考
ポートアイランド (第2期)	P I - I	-12	1	240	既設
	P C - 13	-15	1	350	既設
	P C - 14	-15	2	700	既設及び工事中
	P C - 15 (N)				
	P C - 15 (E)	-16	3	1150	既設
	P C - 16				
	P C - 17				
	P C - 18 (E)	-16	1	400	既設
六甲アイランド	R C - 6	-16	2	800	既設の変更計画
	R C - 7				
六甲アイランド南	R C - 11	-15~-16	1	350	既定計画
合計				11バース	

表4-2-2 耐震強化岸壁計画（緊急物資輸送用）

地区名	施設名	水深 (m)	数	延長 (m)	備考
須磨	S U M A - S I	-5.5	1	100	既定計画
兵庫ふ頭	H - F、G	-9	2	330	既設
新港東ふ頭	S E - W、X	-12	2	480	既設
摩耶ふ頭	M - A、B	-10	2	370	既設
	M - C	-12	1	240	既設
	M - I、J	-12	2	480	既設
東部工区	K F C - 3	-7.5	1	130	既設
六甲アイランド	R F - 3	-8.5	1	238	既設
	R W - B	-13	1	260	既設
合計				13バース	

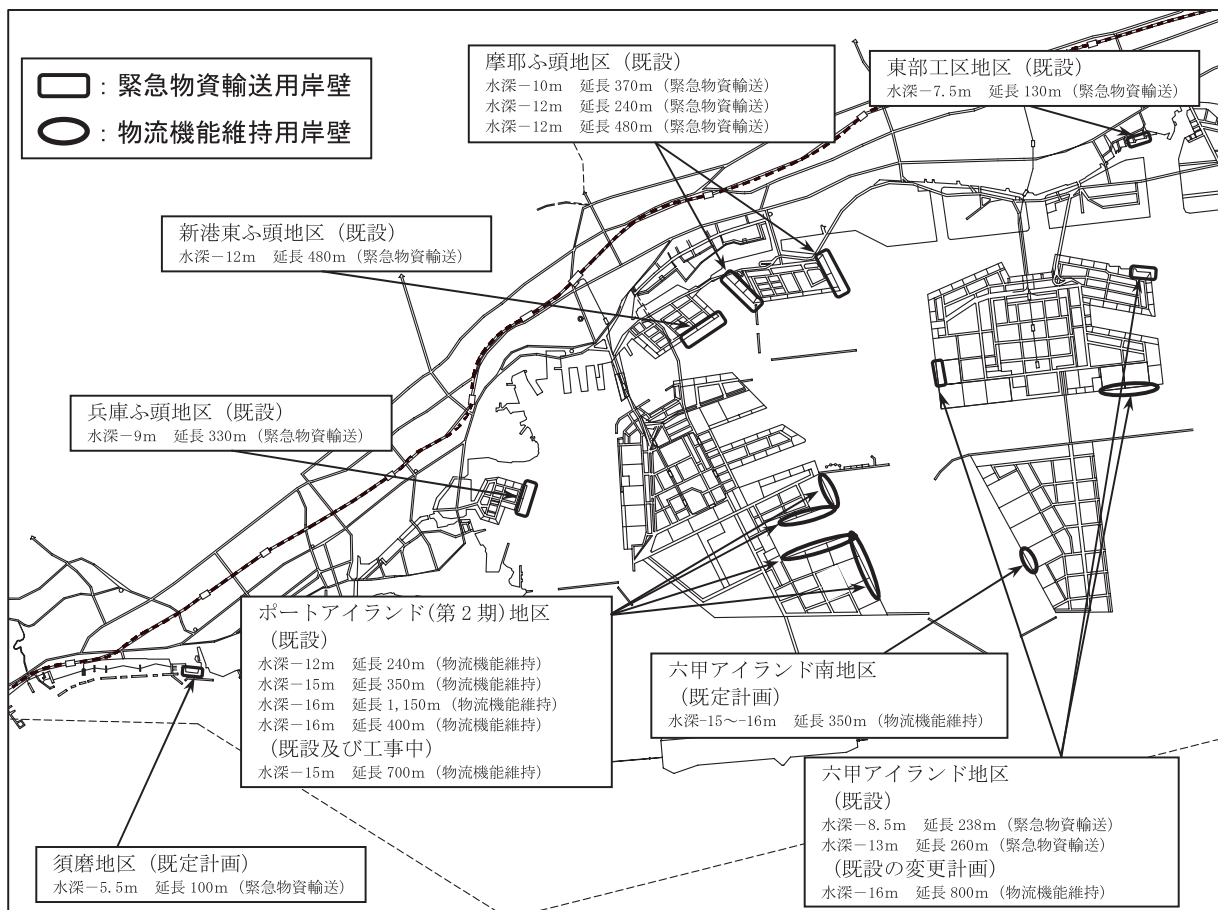


図 4 - 2 - 1 大規模地震対策施設位置図

5 環境の保全に関する資料

今回の計画変更に伴う新たな負荷は少ないことから、環境に及ぼす影響は軽微なものであると考えられる。

なお、今後とも環境保全について十分配慮するとともに、計画実施にあたっては、工法、工期について検討し、十分な監視体制のもとに環境に与える影響を少なくするよう慎重に行うものとする。

6 その他の資料

6-1 関係機関との調整

別紙参照

6-2 地方港湾審議会委員名簿

第20期神戸港港湾審議会 委員名簿

順不同

区分	氏名	役職名
学識経験者 17名	宮下 國生	関西外国語大学教授
	加藤 恵正	兵庫県立大学教授
	井上 欣三	神戸大学名誉教授
	竹林 幹雄	神戸大学大学院海事科学研究科教授
	川島 毅	(社)日本港湾協会理事
	黒田 勝彦	神戸大学名誉教授
	金子 彰	東洋大学教授
	今西 珠美	流通科学大学教授
	毛海 千佳子	大阪成蹊短期大学准教授
	岩井 珠恵	ヴィジュアルデザイナー
	南部 真知子	(株)神戸クルーザー 代表取締役社長
	石橋 伸子	弁護士法人 神戸シティ法律事務所 弁護士
	細川 明子	公認会計士細川明子事務所 公認会計士
	孔 怡	(株)天怡 代表取締役 プロデューサー
	岩佐 光一朗	神戸市自治会連絡協議会会長
	玉田 はる代	神戸市婦人団体協議会会長
	丸山 清人	連合神戸地域協議会議長代行
市議員 6名	大井 としひろ	神戸市議員
	守屋 隆司	神戸市議員
	菅野 吉記	神戸市議員
	赤田 勝紀	神戸市議員
	浜崎 為司	神戸市議員
	かわなみ 忠一	神戸市議員

区 分	氏 名	役 職 名
港湾関係者10名	新 尚 一	神戸商工会議所副会頭
	長 田 庄 太 郎	神戸貿易協会副会長
	長 谷 川 陽 一	日本船主協会阪神地区船主会議長
	工 藤 泰 三	邦船社代表
	田 副 忠 亮	兵庫県港運協会会長
	須 藤 明 彦	神戸海運貨物取扱業組合理事長
	森 本 啓 久	兵庫県倉庫協会会長
	竹 口 信 和	大阪湾水先区水先人会会長
	田 口 雅 彦	全日本海員組合関西地方支部長
	吉 岡 幸 治	神戸港湾労働組合協議会議長
関係行政機関の職員5名	吉 本 知 之	兵庫県副知事
	谷 本 光 司	近畿地方整備局長
	中 村 清	阪神港長
	和 田 昌 雄	神戸運輸監理部長
	田 中 万 平	神戸税関長